



# 81,392,504円 節約

## 中学校・メディコス 等 電気代

27施設の入札結果と中電との長期契約割引の解約に伴う精算額（中電標準価格を正規料金で計算）

施設	落札額	中電標準価格 (正規料金)	差額	削減割合	事業者
中学校22校+特別支援学校	¥97,292,309	¥157,043,105	¥59,750,796	38.05%	中部電力
食肉地方卸売市場	¥28,908,000	¥36,593,296	¥7,685,296	21.00%	関西電力
ぎふメディアコスモス	¥18,537,544	¥24,537,152	¥5,999,608	24.45%	関西電力
薬科大学三田洞キャンパス	¥22,516,056	¥30,472,860	¥7,956,804	26.11%	関西電力
斎苑					

岐阜市行政部資料より

岐阜市は2017年1月に、中電から新年の訪問を受けて以降1ヵ月もしない期間に、市有施設148箇所の電力供給について「従来の契約プランの変更であり、随意契約ではない。」として約51億円もの契約を3年間にわたり締結しました。

随意契約上限50万円をはるかに超えた金額であり、無所属クラブの田中議員が、再三指摘し、議会質問も行ってきました。そもそも、約51億円の電力契約については、17年の3月議会当初予算での全体議案説明会では一切ありませんでした。17年以前の「新電力参入しての競争入札」に関する質問があり「17年は、電力はどのような政策になるのか？」と無所属クラブの議案説明会で、松原のりかずが質問して、初めて行政部が「既に3年間の契約変更済み」との説明と「3月議会予算計上済み」との説明を「言いにくそうに、行なった」ので「発覚」したのです。この時点で、他会派での説明はされていません。

### 契約課の言い逃れに、監査請求で対抗

契約課は「契約プランの変更」と言い逃れを繰り返すだけ。51億円もの高額契約書が1ヵ月ない間に作成され、当時の市長任期をはるかに越える3年間(市長選をはさむ)契約と成っている事にも大きな疑問がありました。この時点で、保守新人候補は名乗り出ていません。そして、新電力にも呼びかけての「競争入札」を行わない事での「岐阜市の損失」を市長に求める監査請求を、善良な岐阜市民が行うことになりました。

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

# 中電が中電より 38.05%安く入札 監査委員会の指摘で単年度契約へ変更

監査委員会は、メディコス事例と同じく、「損失（電気料金の）の市長への請求」を認めませんでした。しかし、契約課の言う「プラン変更」ではなく、この3年契約が「随意契約」と指摘、3年契約を1年ごとの契約へ改正する事になりました。

2018年、競争入札の結果1回目で81,392,504円（オモテ面表）の電気料金（税金）の節約ができました。新規には関西電力が参入でしたが、「中学校22校＋特別支援学校の電気料金入札」に、驚く事は1年目の随意契約をしていた中電が入札参加、自らの正規料金より38.05%（差額59,750,796円）安く落札の事実。

「安価、安定的」な「電気3年契約」と説明を受けた記憶があります。中電自身が価格を38%以上引き下げる事が出来るなら、1年目の価格はどのように算出されたのでしょうか？ 行政部の説明は崩壊していないのでしょうか。改めて「1年目の損失が当時の市長に問われる」のでは。同時に、市民監査請求での成果を実感しました。

## 熊本市 「地震の時にも、新電力不都合なし」

無所属クラブは、この夏に熊本市へ視察に伺って「地震時でも、契約している新電力で不都合は何も無かった」と回答を得てきました。熊本環境局の環境推進部長と同部政策課長は新電力への説明を重ね「更に競争入札拡大する」と発言されていました。

報道では、岐阜市は「5月に熊本市を調査」とされていますが、熊本市担当者からはその時の様子は聞かれませんでした。無所属クラブは、以前から「他都市への調査推進」を指摘していましたが、「熊本市へ調査された」とされるには、柴橋市長の当選を待たなければなりませんでした。

他都市調査も行なわず「安価、安全」を強弁し、市長選挙をまたいだ3年契約・51億円契約を交わした細江前市長の行為に疑問がたえません。報道では今後121施設の競争入札が行なわれるとの事ですが、新電力からの参加が期待されています。



松原のりかず  
☎058-253-2500